

平成22年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成22年8月10日

上場会社名 株式会社ジョイフル 上場取引所 福  
 コード番号 9942 URL <http://www.joyfull.co.jp>  
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)児玉 幸子  
 問合せ先責任者 (役職名)取締役管理本部長 (氏名)初田 誠二 TEL 097-551-7131  
 四半期報告書提出予定日 平成22年8月12日 配当支払開始予定日 平成22年9月14日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年12月期第2四半期の連結業績(平成22年1月1日～平成22年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年12月期第2四半期	29,315	1.2	1,119	160.8	1,078	184.5	627	89.9
21年12月期第2四半期	28,961	4.9	429	63.9	379	52.2	330	

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年12月期第2四半期	21.35	
21年12月期第2四半期	11.24	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年12月期第2四半期	28,385	11,464	40.4	389.83
21年12月期	29,190	11,126	38.1	378.32

(参考) 自己資本 22年12月期第2四半期 11,464百万円 21年12月期 11,126百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年12月期		10.00		10.00	20.00
22年12月期		10.00			
22年12月期(予想)				10.00	20.00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 : 無

3. 平成22年12月期の連結業績予想(平成22年1月1日～平成22年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	60,020	1.8	2,230	24.8	2,130	26.9	980	59.5	33.32

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 : 無

4. その他（詳細は【添付資料】P.4「その他」をご覧ください。）

- (1) 当四半期中における重要な子会社の異動 : 無  
 新規 社 ( )、除外 社 ( )
- (2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更  
 会計基準等の改正に伴う変更 : 無  
 以外の変更 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

期末発行済株式数（自己株式を含む）	22年12月期2Q	31,931,900株	21年12月期	31,931,900株
期末自己株式数	22年12月期2Q	2,522,662株	21年12月期	2,522,398株
期中平均株式数（四半期累計）	22年12月期2Q	29,409,295株	21年12月期2Q	29,409,621株

四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

- この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了しております。

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- 業績予想等の将来に関する記述は、当社が発表日現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. その他の情報 .....	4
(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) .....	4
(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	4
(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更 .....	4
3. 四半期連結財務諸表 .....	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益計算書 .....	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	9
(4) 継続企業の前提に関する注記 .....	10
(5) セグメント情報 .....	10
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	10

## 1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、依然として雇用及び設備に過剰感が残るものの、新興国を中心とした海外経済の改善から輸出や生産の増加が継続したことにより、設備投資についても持ち直しの兆しが伺えるなど、緩やかながら回復しつつある状況で推移いたしました。

一方、当業界においては、経済対策の効果から耐久消費財を中心に個人消費の一部に持ち直しの動きがあるものの、景気の先行き不透明感から消費者の生活防衛意識は強く、依然として厳しい経営環境が続いております。

このような状況の中で、当社は昨年に引き続いて、お値打ち感を主とした商品の提供と、お客様視点に立ったサービスの実践という当社のビジネスモデルの追及に取り組んでまいりました。

商品施策では、確かな品質・衛生管理をベースに、徹底的な「おいしさ」へのこだわりから「何度も食べたい商品」の開発に取り組んでおります。その一環として、チーズインハンバーグを核としたグラントメニューの改定(3月、6月)やランチ・モーニングメニューの改定(5月)を行うとともに、季節フェアの販売(1月、6月)及び期間限定商品として「ハーフパウンダーステーキ」の販売(2月、4月)を行ってまいりました。

また営業施策では、昨年来から取り組んでいる店長・S V(スーパーバイザー)制度の一層の強化とQ S C(良い品質・良いサービス・清潔な環境)の改善活動に加え、今期は「自立した強い店長の育成によるお客様に喜ばれる店作り」の推進と店内環境整備の観点から既存店舗の改修に取り組んでおります。

その結果、直営ジョイフル店の客数・客単価ともに前年同期を上回ったことから、当第2四半期連結累計期間における売上高は293億1千5百万円(前年同四半期比1.2%増)、営業利益は11億1千9百万円(前年同四半期比160.8%増)、経常利益は10億7千8百万円(前年同四半期比184.5%増)、四半期純利益は6億2千7百万円(前年同四半期比89.9%増)となりました。

なお、当第2四半期連結累計期間において、F C 7店舗(1月・3月・6月 各1店舗、4月・5月 各2店舗)の出店を行う一方、3月・5月・6月に直営各1店舗の退店を行ったことから、当第2四半期連結累計期間末における店舗数は712店舗(直営659店舗、F C 53店舗)となりました。

また、当社は保険代理店業務等を行う特例子会社と、中華人民共和国上海市にてファミリーレストラン事業を行う海外子会社を所有しておりますが、連結業績に占める割合が極めて軽微なため、事業の種類別セグメント情報及び所在地別セグメント情報は記載しておりません。

### (2) 連結財政状態に関する定性的情報

#### 資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産は283億8千5百万円となり、前連結会計年度末に比べ8億4百万円の減少となりました。

流動資産は52億7千1百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億2千3百万円の減少となりました。これは主に現預金の減少18億2千4百万円、有価証券(譲渡性預金)の増加16億5千万円によるものです。固定資産は231億1千4百万円となり、前連結会計年度末に比べ6億8千万円の減少となりました。これは主に減価償却費による有形固定資産の減少4億7千2百万円によるものです。

流動負債は83億8千7百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億5千9百万円の減少となりました。これは主に1年内返済予定の長期借入金の減少4億3千5百万円、買掛金の減少3億8百万円、その他(未払費用)の増加5億5千3百万円によるものです。固定負債は85億3千3百万円となり、前連結会計年度末に比べ9億8千3百万円の減少となりました。これは主に長期借入金及び社債の減少8億1千7百万円によるものです。

純資産は114億6千4百万円となり、前連結会計年度末に比べ3億3千8百万円の増加となりました。これは主に利益剰余金の増加3億3千3百万円によるものです。

#### キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、30億4千7百万円(前連結会計年度末比16.2%増)となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況については下記のとおりであります。

#### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、14億4千1百万円(前年同四半期比28.7%増)となりました。収入の主な内訳は、税金等調整前四半期純利益10億5千8百万円、減価償却費6億1千3百万円、未払費用の増加額5億5千6百万円、たな卸資産の減少額1億8千万円であり、支出の主な内訳は、法人税等の支払額3億8千9百万円、仕入債務の減少額3億8百万円、前払費用の増加額2億3千万円であります。

#### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果得られた資金は、5億3千万円(前年同四半期比26.1%増)となりました。主な内訳は、定期預金の払戻による収入6億円、有形及び無形固定資産の取得による支出1億2千8百万円であります。

#### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は、15億4千6百万円(前年同四半期比20.0%減)となりました。主な内訳は、長期借入金の返済による支出11億3千7百万円、配当金の支払額2億9千3百万円、社債の償還による支出1億1千5百万円であります。

### (3) 連結業績予想に関する定性的情報

現時点では平成22年2月8日に公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

## 2. その他の情報

### (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

該当事項はありません。

### (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

#### 簡便な会計処理

##### ) 固定資産の減価償却費の算定方法

減価償却の方法として定率法を採用している資産については、当連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定しております。

##### ) 経過勘定項目の算定方法

固定費的な要素が大きく、予算と実績の差異が僅少のものについては、合理的な算定方法による概算額で計上する方法によっております。

##### ) 繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境及び一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるので、前連結会計年度において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

#### 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

### (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成22年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,397,679	3,222,626
売掛金	132,958	148,839
有価証券	1,650,000	-
商品及び製品	287,116	254,367
原材料及び貯蔵品	679,841	892,941
その他	1,132,447	879,938
貸倒引当金	8,933	4,003
流動資産合計	5,271,110	5,394,709
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	8,541,887	8,975,073
機械装置及び運搬具(純額)	335,727	358,954
工具、器具及び備品(純額)	615,635	631,836
土地	8,202,263	8,202,263
その他(純額)	5,264	5,616
有形固定資産合計	17,700,778	18,173,744
無形固定資産	101,737	108,200
投資その他の資産		
敷金及び保証金	3,308,803	3,343,174
その他	2,003,410	2,170,420
投資その他の資産合計	5,312,214	5,513,594
固定資産合計	23,114,730	23,795,538
資産合計	28,385,841	29,190,248
負債の部		
流動負債		
買掛金	2,108,404	2,416,607
1年内返済予定の長期借入金	1,684,700	2,119,700
1年内償還予定の社債	230,000	230,000
未払法人税等	355,584	479,903
賞与引当金	115,140	113,379
その他	3,893,355	3,187,250
流動負債合計	8,387,183	8,546,841
固定負債		
社債	710,000	825,000
長期借入金	7,037,150	7,739,500
退職給付引当金	434,751	416,159
役員退職慰労引当金	38,494	32,232
その他	313,587	504,396

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成22年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年12月31日)
固定負債合計	8,533,983	9,517,287
負債合計	16,921,166	18,064,128
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,596,595	1,596,595
資本剰余金	2,390,432	2,390,432
利益剰余金	11,271,487	10,937,817
自己株式	3,770,840	3,770,696
株主資本合計	11,487,674	11,154,148
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	1,370	374
繰延ヘッジ損益	923	-
為替換算調整勘定	23,447	28,403
評価・換算差額等合計	22,999	28,029
純資産合計	11,464,674	11,126,119
負債純資産合計	28,385,841	29,190,248

(2) 四半期連結損益計算書  
【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成21年1月1日 至平成21年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成22年1月1日 至平成22年6月30日)
売上高	28,961,494	29,315,203
売上原価	10,437,293	10,330,233
売上総利益	18,524,200	18,984,970
販売費及び一般管理費		
役員報酬及び給料手当	9,863,601	9,826,506
賞与引当金繰入額	112,133	111,687
退職給付費用	68,900	69,583
役員退職慰労引当金繰入額	-	6,262
その他	8,050,250	7,851,425
販売費及び一般管理費合計	18,094,885	17,865,465
営業利益	429,315	1,119,504
営業外収益		
受取利息	13,525	5,071
不動産賃貸収入	24,734	31,653
為替差益	8,380	-
その他	24,785	32,487
営業外収益合計	71,426	69,211
営業外費用		
支払利息	85,847	58,369
不動産賃貸原価	31,500	34,315
その他	4,267	17,456
営業外費用合計	121,615	110,141
経常利益	379,125	1,078,575
特別利益		
貸倒引当金戻入額	291	80
役員退職慰労引当金戻入額	845	-
固定資産売却益	848	4
地役権設定益	12,328	-
事業税還付金	15,983	-
移転補償金	-	330
特別利益合計	30,296	415
特別損失		
固定資産売却損	8,102	-
固定資産除却損	35,553	12,851
減損損失	130,187	-
役員退職慰労金	37,787	-
店舗閉鎖損失	1,537	2,250
賃貸借契約解約損	16,264	3,202
訴訟和解金	1,261	1,954
特別損失合計	230,694	20,258

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成21年1月1日 至平成21年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成22年1月1日 至平成22年6月30日)
税金等調整前四半期純利益	178,728	1,058,731
法人税、住民税及び事業税	74,195	289,247
法人税等の更正、決定等による納付税額又は還付税額	343,689	-
法人税等調整額	117,721	141,719
法人税等合計	151,772	430,966
四半期純利益	330,500	627,764

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成21年1月1日 至平成21年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成22年1月1日 至平成22年6月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	178,728	1,058,731
減価償却費	685,790	613,202
減損損失	130,187	-
受取利息及び受取配当金	13,701	5,257
支払利息	85,847	58,369
たな卸資産の増減額 (は増加)	433,167	180,349
前払費用の増減額 (は増加)	177,483	230,519
仕入債務の増減額 (は減少)	994,923	308,203
未払費用の増減額 (は減少)	528,880	556,419
その他	74,832	31,961
小計	931,326	1,891,130
利息及び配当金の受取額	20,545	1,598
利息の支払額	89,572	60,869
法人税等の支払額又は還付額 (は支払)	258,470	389,980
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,120,769	1,441,877
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	1,500,000	-
定期預金の払戻による収入	2,050,000	600,000
有価証券の取得による支出	200,000	-
有価証券の償還による収入	300,000	-
有形及び無形固定資産の取得による支出	277,839	128,495
その他	48,371	58,671
投資活動によるキャッシュ・フロー	420,532	530,175
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
長期借入金の返済による支出	1,524,462	1,137,350
社債の償還による支出	115,000	115,000
自己株式の取得による支出	79	144
配当金の支払額	293,744	293,705
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,933,286	1,546,199
現金及び現金同等物に係る換算差額	4,930	800
現金及び現金同等物の増減額 (は減少)	387,053	425,053
現金及び現金同等物の期首残高	3,304,487	2,622,626
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,917,434	3,047,679

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

事業の種類別セグメント情報

前第2四半期連結会計期間(自平成21年4月1日至平成21年6月30日)及び当第2四半期連結会計期間(自平成22年4月1日至平成22年6月30日)並びに前第2四半期連結累計期間(自平成21年1月1日至平成21年6月30日)及び当第2四半期連結累計期間(自平成22年1月1日至平成22年6月30日)

当社グループはレストラン事業の売上高及び営業利益の金額が全セグメントの売上高及び営業利益の金額の合計額の90%を超えているため、事業の種類別セグメント情報の記載を省略しております。

所在地別セグメント情報

前第2四半期連結会計期間(自平成21年4月1日至平成21年6月30日)及び当第2四半期連結会計期間(自平成22年4月1日至平成22年6月30日)並びに前第2四半期連結累計期間(自平成21年1月1日至平成21年6月30日)及び当第2四半期連結累計期間(自平成22年1月1日至平成22年6月30日)

本邦の売上高の金額は、全セグメントの売上高の金額の合計額に占める割合が90%超であるため、所在地別セグメント情報の記載を省略しております。

海外売上高

前第2四半期連結会計期間(自平成21年4月1日至平成21年6月30日)及び当第2四半期連結会計期間(自平成22年4月1日至平成22年6月30日)並びに前第2四半期連結累計期間(自平成21年1月1日至平成21年6月30日)及び当第2四半期連結累計期間(自平成22年1月1日至平成22年6月30日)

海外売上高は、連結売上高の10%未満であるため、海外売上高の記載を省略しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

株主資本の金額は、前連結会計年度末日と比較して著しい変動がありません。